

DNA修復特性を有するがん細胞を利用した 抗がん剤のスクリーニング系と評価系

放射線衛生管理学 香崎正宙

利用分野

生体内でのRAD52阻害効果を反映したスクリーニング技術であり、実用化の可能性が高いRAD52阻害剤の候補化合物を評価し、創薬開発につなげる。

シーズ

一本鎖アニーリング活性が増加して生存する特徴をもつ、希少遺伝性疾患RTSの骨肉腫患者のモデルがん細胞を樹立した。このがん細胞を利用して、SSA因子のRAD52を阻害する新規RAD52阻害剤を網羅的にスクリーニングする系、および得られたヒット化合物のRAD52阻害機能を評価する系。



ニーズ

従来のRAD52阻害剤のスクリーニング法は、in vitroのみのスクリーニング法、in silicoと in vitroを融合したスクリーニング法のみである。実際の生細胞を利用したRAD52阻害剤のスクリーニング系は未だに開発されていない。抗がん剤としてのRAD52阻害剤も上市されていない。

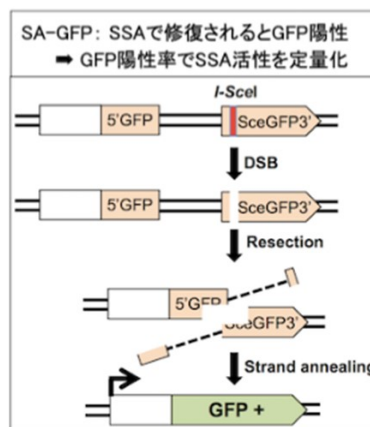
連携分野

- 構造最適化のために化合物ライブラリーを提供してくれる企業
- 臨床試験に協力してくれる医療機関



知財保護

特願2020-031591



RAD52は染色体異常を引き起こす酵素



本学マスコットキャラクター
ラマディー



産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@inbox.pub.uoeh-u.ac.jp